

平成 30 年 4 月 17 日

ICU における嚥下に関する国際調査 調査研究協力のお願ひ

昨今、ICU 領域におけるリハビリテーションは重要性を増しており、人工呼吸管理後の誤嚥予防のアプローチが求められています。しかし、国内のみならず世界の現状として、体系的なプロトコルは存在せず、各施設がそれぞれ独自の方法で取り組んでいます。

この現状をうけ、まずは ICU における嚥下評価の実態を明らかにする目的で、オランダの Peter Spronk 医師を中心に世界 17 ヲ国でアンケート調査が行われることになりました。この実態調査は、全国の ICU を対象としていて、各国 70%の回収率が求められています。50 あまりの質問からなる調査ですが、ICU における嚥下リハビリテーションの発展に重要な一歩になると考えています。是非、各施設の現状についてご回答をいただくと幸いです。

なお、本調査実施にあたり、日本リハビリテーション医学会研究倫理審査会の審査を受け、承認を得ています。

質問内容：嚥下評価の現場の意識や評価・マネジメント等について

対象： ICU (SCU・小児 ICU を除く)
同施設に複数の ICU がある場合は、各 ICU から 1 つずつ回答をお願いします。

回答方法：ウェブ上でのアンケート調査です。ご協力いただける方は①施設名②連絡者氏名を記入の上、下記アドレスまでメールでご一報ください。

メール送付先： swallow@jsea2005.org

研究担当者：(五十音順)

ナショナルコーディネーター

笠井史人 昭和大学医学部リハビリテーション科准教授

曷川 元 一般社団法人日本離床研究会代表理事 医学博士・理学療法士

国内調査コアメンバー

稲本陽子 藤田保健衛生大学医療科学部准教授 言語聴覚士

宇都宮明美 聖路加看護大学准教授 日本集中治療医学会 理事

奥田千恵子 横浜薬科大学薬学教育センター医療統計学客員教授

影近謙治 金沢医科大学リハビリテーション科教授

小谷 透 昭和大学医学部麻酔科准教授

協力学会

日本摂食嚥下リハビリテーション学会

日本リハビリテーション医学会

日本離床研究会

この研究に関する問い合わせ先

昭和大学医学部リハビリテーション科准教授 笠井史人

e-mail: swallow@jsea2005.org